



ブドウ栽培

目標はブドウ狩り園開設！ ブドウと夢を桂川に広げ続ける

飯田俊雄さん（土師）と梶嶋邦博さん（九郎丸）は、それぞれの土地で協力しながらブドウの栽培を行っています。

現在は、2人合わせて年間600房ほどを生産。「近所に配ったり、けいせんとれたてで販売を行ったりしています」と話す飯田さん。年間1500房を目標に、特産品開発事業補助金を活用しました。

「最終的には、ブドウ狩りができるよう整備して、観光客が呼べるようにしたい」というお2人。「周囲にもブドウの魅力伝えて、桂川町にどんどんブドウを広げていきたいですね」と話す飯田さんと梶嶋さんの夢は、ますます広がっていきます。



栽培している品種は、「巨峰」と「ピオーネ」。粒が大きく食べ応えがあります。



「手間はかかるけど、自分で手をかけて作ったものを食べてもらうのは楽しい」と梶嶋さんは話します。



【開発者】
飯田俊雄さん 梶嶋邦博さん

次の特産品を創るのは、あなたです。

桂川町特産品開発事業補助金

桂川町の資源や特性を生かした特産品の開発・改良や販路開拓などに取り組む人に対して、補助金を交付します。

【対象者】

- 桂川町内に住所を有する個人
- 桂川町内に住所を有する人で構成する団体
- 桂川町内に事業所を有する法人（個人事業主を含む）

【補助額】

補助対象経費の4分の3以内（上限100万円）

【その他】

申請する場合は事前にご相談ください。

【申請・問合せ】

企画財政課 企画広報係 ☎65・1085

